

令和7年度 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：2026年 3月 6日

調査機関：2026年1月

事業所名 アクティ∞

従業員数：4 回収数：4 回収率100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点 など
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%	0%	0%	定員に対して十分な訓練スペースを確保している
	②	職員の配置数は適切であるか	100%	0%	0%	人員基準を満たしている
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	25%	0%	75%	身体障害の方を受け入れられる環境設定にはなっていない
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	100%	0%	0%	年間のアクションプランを通して、取り組んでいる
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%	0%	0%	アンケートを実施し、意向の把握と、業務改善向上に努めている
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%	0%	0%	毎年、当法人のホームページにて公開している
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0%	100%	0%	現在、外部評価は受けていないが、今後検討していく
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%	0%	0%	資質向上の為、外部研修、法人内研修に参加している
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	0%	0%	利用児、ご家族と面談を通じ、アセスメントやニーズの聞き取りや確認を行いながら個別支援計画を作成している
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%	0%	0%	知能検査WISC-Vの結果を活用しながら、決まった書式のアセスメントシートを使用している
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%	0%	0%	個々の考えを活かし、活動が楽しくなるようなプログラムを職員で立案している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%	0%	0%	併設する児童クラブの行事や活動にも参加している
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	100%	0%	0%	平日、長期休暇それぞれの週間予定表を作成し、活動に活かしている
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	0%	0%	個々の状況に合わせながら遊びの工夫を計画、実施している。 利用児ニーズの確認を行いながら計画作成している

適切な支援の提供	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%	0%	0%	毎朝のミーティングで行っている
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%	0%	0%	夕方、又は翌朝のミーティングで共有している
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	0%	0%	アプリ内の児童台帳にて個別支援記録を記載し、モニタリング、個別支援計画に活かしている
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	0%	0%	利用児の状況、保護者のニーズに応じて対応している
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	100%	0%	0%	利用児の発達段階における5領域に基づき、利用児に必要な活動を組み合わせながら行っている
関係機や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者その子どもの状況に精通した者が参画しているか	100%	0%	0%	担当者会議や保護者面談など、児童発達支援管理責任者が出席しているが、直接支援を行う、職員も参加している
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	100%	0%	0%	学校からの下校予定表や共通連絡アプリの利用、保護者との面談・電話連絡を行うなどして調整している
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0%	100%	0%	現在、対象となる利用児がない
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	100%	0%	0%	就学前に園や事業所と情報共有を行っている 今後も情報共有と相互理解に努めていく
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	0%	100%	0%	現在、対象となる利用児がない
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	0%	100%	0%	今後、助言や研修の機会があれば検討する
関係機や保護者との連携	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	100%	0%	0%	併設する放課後児童クラブと交流や活動に参加している
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	0%	100%	0%	現在参加していないが、機会があれば参加予定
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	0%	お迎えや送迎時に情報交換を行い、アプリにて活動の様子をお知らせしている

	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0%	100%	0%	ペアレント・トレーニングを当事業所で開催していないが、保護者からの要望があった場合は県や市で行っているペアレント・トレーニングや研修情報をお伝える。
保護者への説明責任等	③0	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0%	0%	契約時に説明している。
	③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%	0%	0%	保護者からの相談には柔軟に対応し、職員間でも共有している
	③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0%	0%	100%	今後、保護者のニーズがあれば、父母の会などの開催を検討していく。
	③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0%	0%	現在苦情はないが、意見等あった場合は、迅速かつ丁寧な対応を心掛けている
	③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	0%	100%	0%	不定期にコドモンにて個別に配信している
	③5	個人情報に十分注意しているか	100%	0%	0%	十分に注意している。今後も管理徹底に努めていく
	③6	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	0%	0%	個々に応じた配慮を行い、対応の確認、共有を行っている
	③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0%	0%	100%	現在行っていないが、今後検討していく
非常時等の対応	③8	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%	0%	0%	各マニュアル作成はしてあるが、職員間での周知徹底を行い、保護者にもお伝えできるよう努めていく
	③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	0%	毎月、併設する児童クラブと合同で、定期的な訓練を実施している
	④0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%	0%	0%	虐待防止・権利擁護研修に参加した職員が他職員に研修を行う機会を設けており、今後も実施していく
	④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか放課後等デイサービス計画に記載しているか	0%	100%	0%	現在、身体拘束の対象となる利用児がいない

④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	0%	100%	0%	対象となるアレルギー食品の提供を行っていない
④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%	0%	0%	その都度共有しているが、口頭共有だけにならないよう、記録に残している

令和7年度 保護者等による放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公表）

公表：2026年 3月 6日

調査機関：2026年1月

事業所名 アクティ∞

保護者数（児童数）10 回収9 回収率90%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	100%	0%	0%	
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	89%	11%	0%	人員基準を満たしている。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	100%	0%	0%	
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	100%	0%	0%	
	5	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	100%	0%	0%	併設する児童クラブの行事や活動に参加する等しながら支援している
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	100%	0%	0%	併設する放課後児童クラブと交流や活動の機会を設けている
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%	0%	0%	
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	100%	0%	0%	
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100%	0%	0%	
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	11%	56%	33%	現在、父母の会はないが、今後、保護者からのニーズがあれば検討していく
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	78%	22%	0%	現在苦情に繋がる問い合わせはないが、あった際には、迅速かつ丁寧にお応えできるよう問題点と改善策の検討に努めていく
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100%	0%	0%	

保護者への説明等	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	25%	75%	0%	ホームページやアプリ内にて当事業所の取組を発信できるよう努めていく
	14	個人情報に十分注意しているか	89%	11%	0%	保護者に個人情報の保管場所や取り扱い方法をお伝えするとともに、今後も取り扱いを徹底していく
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	50%	50%	0%	訓練内容や対策についての説明や、訓練時の様子等をアプリで発信していく
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	67%	33%	0%	避難・消火訓練を毎月実施している事を保護者にも周知していく
満足度	⑩	子どもは通所を楽しみにしているか	78%	22%	0%	これからも楽しく過ごしていただけるよう、個々に合わせた支援を行っていく
	⑪	事業所の支援に満足しているか	89%	11%	0%	満足していただける支援に繋がるよう、日々考え、工夫しながら努めていく

事業所における自己評価総括表（公表）

○事業所名	アクティ∞（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 6日		令和7年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	10	（回答者数）
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 6日		令和7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	4	（回答者数）
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 18日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所アンケートの結果から、「生活リズムが整った」「他者への関心が増えた」「相談しやすく助けられている」という評価を多数頂いた。このことから、当事業所は「こどもの自立を促す確かな支援力」と「家族に寄り添う高い信頼性」を有していることが示された。また、支援が子ども本人だけでなく、ご家族の心理的支えとしても機能していることが、当事業所の大きな強みである。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期面談に加え、保護者からの相談や面談の要望があった際には、随時面談の機会を設けている。 ・ご家族の不安軽減や当事業所の支援方法の共通理解を図ることを大切にし、ご家族と当事業所が同じ方向性で支援できるよう努めている。 	現在は個別面談を中心とした対応をおこなっているが、今後は共通の課題や悩みを持つ保護者同士が集い、意見交換ができる機会の整備も検討している。
2	併設する放課後児童健全育成事業との交流や合同活動を実施しており、障がいの有無によって分け隔てなく参加できる環境を整えている。また、利用児それぞれの特性や状況に応じて、個別活動と集団活動をバランスよく組み合わせた個別支援計画を作成し、日々の支援に取り組んでいる。このことから、当事業所はインクルーシブな環境の中で、一人ひとりの特性を活かした支援ができていくことが、当事業所の強みである。	<ul style="list-style-type: none"> ・合同行事に限らず、個々の意思を丁寧に確認しながら、併設する児童クラブで活動する機会を設け、子ども同士の関係性が広がるよう取り組んでいる。 ・小集団で日々習得したことを大集団活動の中で活かせるよう支援し、地域や社会の中で生活する力が段階的に身につくよう意識している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後は、行事等を通して一つの作品を時間をかけて共同制作するなど、共通の目的をもって取り組める機会の充実を検討している。 ・利用児同士に共通の目標があることで、自然なコミュニケーションや役割分担が生まれ、交流の輪がさらに広がるとともに、それぞれの「得意なこと」や「強み」を発見するきっかけにもつながる。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会等の保護者同士が主体的に関わる機会が十分に設けられていないことが課題であると認識している。	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者同士の交流や活動について、事業所側からの積極的な働きかけが十分とは言えず、保護者のニーズに委ねる形になっていること。 ・日々の個別対応を優先する中で、保護者同士を「つなぐ場」の提供までおこなえていないこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後は、保護者のニーズを丁寧に確認しながら、事業所としても主体的に交流の機会を検討する。 ・保護者に寄り添った形で、無理のない方法による保護者同士の「交流の場」を設けることで、情報共有や相互理解が深まり、安心感の向上につながるよう取り組む。
2			
3			